

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 消化器内科 岡本 武士

【研究責任者】

聖路加国際病院 消化器内科 岡本 武士

転移性乳癌を対象とした ERCP（内視鏡的逆行性胆管・膵管造影）に関する研究

1.研究の対象

- ・当院において、2004年4月1日から2019年12月31日までに乳癌の既往があり、ERCPを施行した患者さんを対象とします。

2.研究の目的・方法

乳癌転移による胆管閉塞は非常に稀であり、その病態や治療効果を原因を明らかにすることで、乳癌患者さんに対する治療に役立つことが予想されます。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2021年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ番号, 性別, 合併症, 既往歴, 治療歴, 内服歴, 内視鏡所見, 治療後経過等